

第42回九州少年柔道大会申し合わせ事項

本大会は、小学生の九州大会であり、“安全指導”並びに、“教育的立場”次の事項を申し合わせる。

審判規定

- ・「両膝を最初から同時に畳に着いて背負投等を施した場合」は規定通り指導を与え、片膝をつけて背負い投げを施した場合も指導を与える。
- ・大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した選手は、専門医の診察を受け出場許可を得ること。
- ・試合中、頭部を強打し試合続行不可能な場合は勿論の事、審判員が危険と判断した時も、審判員合議の上、試合者を棄権させる。また、個人戦の出場も認めない。
- ・大会当日体重測定は行わないが、審判員が階級に相違があると思われた場合、体重測定を実施し超過の場合失格とする。(試合全般)
- ・背中の“ゼッケン”のない選手や、柔道着の袖口を折り曲げて着用している選手の出場は認めない。但し、肩口での折り曲げ、ズボンの裾での折り曲げは認める。
- ・監督・コーチ、一般の声援で審判員を侮辱するような暴言があった場合は、審判員合議の上退場とする。また、「教育的配慮に欠ける」応援も厳重に注意する。
- ・監督・コーチの服装は審判員に準ずる。(短パン、Tシャツ等の軽装はお控え下さい)
- ・1階試合場入場のために役員・審判員、監督(各県10枚)、コーチ(各県15枚)へIDカードを配布しそれ以外は試合会場への入場は出来ない。

公共施設使用の約束事を守る。

- 1 ゴミは施設内に残さず必ず持ち帰る。
- 2 施設内のトイレ等清潔に使用する。
- 3 駐車は決められた場所を使用し係員の指示に従う。

※係員に対する苦情、暴言の禁止

- 4 大会終了後、**10個のゴミ拾い**を参加者全員で行う。